

# 令和4年度指定管理業務に関する事業報告書（デイ）

施設名 京都市日ノ岡老人デイサービスセンター

## 1 施設の管理運営

・通所介護事業及び京都市総合事業介護予防型デイサービスの実施  
・営業日：月曜日～土曜日 但し年末年始4日間は休業  
・営業時間：午前8時30分～午後5時45分  
・利用定員：30名  
・送迎、入浴、食事、機能訓練、レクリエーション、余暇活動等の提供、生活及び健康相談等を行い、安心して在宅生活を続けられるよう、またご家族の介護負担の軽減を図るよう援助する

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

## 2 事業実施内容

老人福祉法第20条の2の2に規程する老人デイサービスセンターとしての事業及びその他京都市が独自に行う事業

・送迎、入浴、食事、機能訓練、レクリエーション、余暇活動等の提供、生活及び健康相談、ご家族の介護負担の軽減  
・えらべるレクリエーションとして、①体操、②作品作り、③リラクゼーションから、お好みの内容を選んで、参加していただく  
・リハビリの充実を図るため、滑車運動やペダル漕ぎ、フットマッサージ機を活用  
・口腔ケアの推進

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

(参考) 自主事業内容

## 3 サービス提供状況

管理者 1名 生活相談員 1名 看護師兼機能訓練指導員 3名 介護職員 5名 運転手 1名

(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

## 4 市内中小企業への発注に対する考え方

市内中小企業を優先して発注するよう努めた。

## 5 施設の利用状況(施設の稼働率、利用者数、事業参加者数など)

(1) 延べ利用者数(実績値)

5929 人

(2) 実利用者数(実績値)

851 件

(3) 収支実績

ア 令和4年度収入状況（単位：円）

介護保険収入	51,347,877
利用料収入	10,283,615
委託料収入	
補助金収入	
寄付金収入	
雑収入	
その他	238,439
収入計	61,869,931

イ 令和4年度支出状況（単位：円）

人件費	36,471,152
事業費	10,290,687
委託費	3,712,803
小額修繕費	
その他	4,507,872
支出計	54,982,514

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

利用者満足度アンケートは、本年度は管理者の急な退職や職員不足により事業運営を安定させることに注力したため、実施できていない。

(2) 利用者満足度把握の結果

アンケートを実施していないため、不明です。

(3) 意見等への主な対応状況

7 その他特記事項

(1)

どんなに年をとっても、好きなことや得意なことは変わらないと思います。日ノ岡デイサービスセンターでは、ご利用者の皆さんがそれぞれ得意な場面で力を発揮していただけるような関わりを大切にしています。そのため、お一人おひとりのご利用者をよく知るとともに、思いを汲み取れるような関わりを介護の専門職として心がけています。

(2)

## 8 評価（指定管理者自己評価）

令和4年度の事業方針は、「ご利用者の思いを出発点にする。相手の気持ちを尊重し、何を必要とされているのかを知り、専門職として根拠のあるチームケアを実践する。」とし、事業展開をしました。

サービスの質の向上として、チームケアの強化に取り組んだが、職員の退職とコロナ感染もあり、下半期は慢性的な人員不足でゆとりがなく、コミュニケーション不足だったことやコロナ禍でもありデイ会議も休止していたため、連携不足になってしまったことは反省点です。

サービス・ケア面では、年間行事やレクリエーションは、コロナ禍のため中止したものが多かったが、感染状況をみて、初詣や餅つき大会、出張にぎり寿司を開催できたことはよかった点と考えています。ニーズの高い運動は歩行訓練、散歩、ラジオ体操、階段昇降運動、ペダル漕ぎ運動、マッサージャー等を活用し、筋力の維持・向上に努めました。

事故、ヒヤリ・ハットについては、発生件数は事故13件、ヒヤリ・ハット33件、保険者へ報告する事例はなかったが、事故分析を行い減少できるよう引き続き努めていきます。

令和5年2月に前管理者の急な退職もあり「サービス満足度アンケート」は実施できていません。

今後のサービス向上には、さらなるチームワークの強化が必要であり、そのために、職員一人ひとりが、いま自分がやるべきこと、やらなければいけないことをしっかりと考え、実践しながら、職員間の信頼関係を深めて職員一人ひとりがスキルアップできるよう、研修や勉強会等を行い、サービスの向上につなげていく。

令和5年度は、「日ノ岡デイサービスを利用して良かったと思ってもらえるために」①ご利用者と真摯に向き合います。②デイサービスは、ご利用者の生活の一部であることを常に意識し、ご利用者の生活が少しでも向上するように支援します」を重点目標として、取り組む。これまで通り新型コロナウイルス感染予防に努め、安心・安全を大切にサービスの質の向上を図り、稼働率をアップできるよう健全な事業所運営を行っていきます。